

作文コンクール “Leading to the Future 未来に向かって～教育・夢・感動～”

2024年 最優秀賞作品「私の憧れ」

大阪府立八尾高等学校 2年 林 茉奈実 さん

私の夢は小学校の先生になることです。この夢を抱くようになったのは私が今まで出会ってきた最高の先生方に憧れをもったからです。

小学校五先生の時、私は仲の良かった女の子グループの一人からいじわるをされていました。普段からいじられる事が多かった私はそのいじわるをいじりの延長だと考えて親にも先生にも相談せず、一人で我慢していました。しかし、ずっと一緒にいる友達だったので、だんだんと我慢できなくなっていき、学校で泣いてしまったり、下校中に涙が止まらなくなることもありました。そこで初めてお母さんに相談し、先生に言ってみようということになりました。私はいじわるをされていることを他の人に知られたくなくて、最初は先生に言うことを躊躇っていました。しかし先生はそれを聞いた時、驚きもせず、いじわるをしている子を怒ることもなく、

「辛かったね。言ってくれてありがとう。」

と私の気持ちに寄り添って、励ましてくれました。私はその時、誰かに話せた安堵と先生の言葉の優しさに涙がこぼれそうになりました。それからは、何かされたり泣きそうになったら先生の所に行き、話を聞いてもらいました。先生は、私が相談に行く度に一緒に怒ってくれたり、一緒に悲しんでくれたり、時には冗談を言って私を笑わせてくれることもありました。そのおかげで私はいじわるをあまり気にしなくなり、その子とも仲良く過ごせるようになりました。今でもその先生には感謝しかありません。

中学校に入学し、そこでも私は最高の先生方に出会いました。私の中学校では先生同士の仲がとてもよく、生徒と先生も友達のような関係でした。先生方はいつも私達の事を考えてくれていて、学校生活は毎日楽しく、授業も面白いので、私は勉強することが大好きになりました。

このように私は人生の中で何度も先生に助けられ、勇気と元気をもらいました。だから私も、私がしてもらったように、子供達の役に立てる教員になろうと思いました。

私が教員になる上でこれからの教育に必要なと思うことは3つあります。1つ目は主体性を育むことです。近年、社会問題や環境問題が多発している一方で、自分で考えて行動できる人間が少ないと感じます。これからの社会の為にも早い段階で主体性を身に付けることが重要だと考えます。2つ目は柔軟い思考力です。多様性の考え方が広がっている今の時代には固定観念に縛られず、色々な考え方でモノを見ることが出来る思考力が必要だと考えます。最後は人間性を教えることです。最近の日本ではいじめやSNSの書き込みなどによって命を絶ってしまう人が多いです。子供を加害者にも被害者にもさせない為に

大人が正しい人間性を教えることは義務であり責任であると思います。時代に合った教育がよりよい未来への第一歩だと考えます。